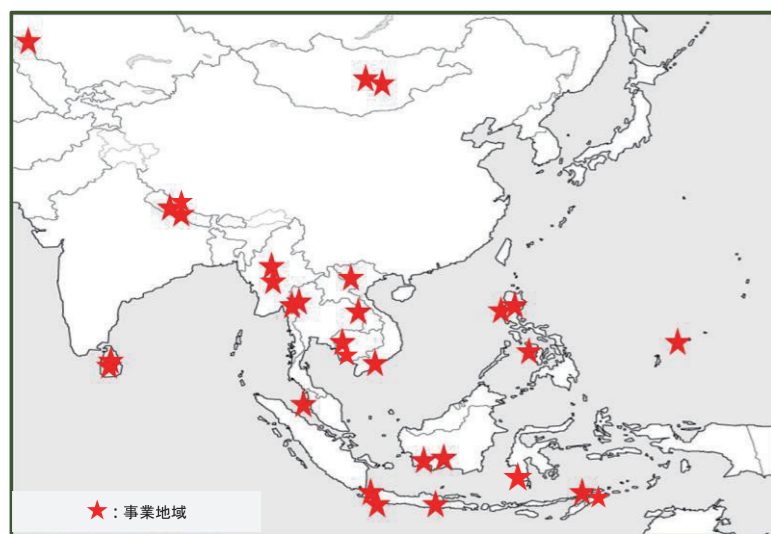


事業タイトル	代表者	代表者所属	助成金(千円)
ベトナム・メコンデルタにおける有機農業の実践と青少年への環境教育による環境保全型の地域づくり	伊能 まゆ	特定非営利活動法人 Seed to Table 理事長	1,000
シンハラージャ森林におけるエコツーリズムを通じた環境保全	高橋 知里	特定非営利活動法人 バルシック	1,000
ミャンマー中央乾燥地域における青少年を対象とした植林活動と環境教育の推進	永石 安明	公益財団法人オイスカ 事務局長	1,000
モンゴル国における生物多様性保全教育センターおよび栽培基地の構築	思 沁夫	一般社団法人北の風・南の雲 代表理事	990
動物を通じて次世代の子どもたちが考えるボルネオの自然環境問題 ～マレーシアと日本の子どもたちの対話型遠隔教育	森井 真理子	認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事	1,000
ミャンマー・シャン州インレー湖周辺地域における水質浄化啓発活動「みんなで湖を守る」を形にするために	柴田 京子	特定非営利活動法人 地球市民の会	1,000
インドネシア・南スラウェシのエビ養殖地域における住民主体の環境保全活動モデルの構築	野川 未央	特定非営利活動法人APLA 事務局長、理事	1,000
持続可能な里山地域づくりに向け、バイオガスプラント設置による有機肥料生産から動物糞の適用利用システムと、ゴミ分別によるゴミのリサイクルシステム導入から資源循環を	熱田 典子	公益社団法人 アジア協会アジア友の会 副事務局長	1,000
交流を通じて自走するカンボジア・東ティモールの持続的な環境教育	下田 寛典	合同会社PLC 代表社員	1,000
カンボジアにおける資源循環型農業の確立をベースとした教育支援システムの構築と自立できる農家の育成	小関 皆乎	「藪の傍」代表	1,000

合計 10件 9,990千円

《助成事業実施地域図》



インドネシア：シドアルジョ県バルサミン村
ゴミ回収プロジェクト村民との意見交換



東ティモール：レテフォホ
学校菜園事業視察後の村民との記念写真

《助成実績》

(2011年～2021年) 事業数 36件 / 支援総額 92百万円

※助成事業詳細は、財団HPにてご確認ください。

<https://www.resona-ao.or.jp/project/environment.html>

※財団は年1回環境シンポジウムを開催しています。
環境事業も紹介しており、開催内容をHPで掲載しています。

<https://www.resona-ao.or.jp/project/record/symposium.html>

2022年度 りそな環境助成 ～自然と人とのつながりを求めて～

応募要項

応募期間 2021年6月7日～2021年8月31日 (必着)



「りそな(RESONA)」は、ラテン語で「共鳴する」という意味をもち、地域(Regional)の人々と共鳴して行動するというアジェンダが込められた造語です。そこへ財団は新たに「つながり(RE:relation)」「社会(SO:social)」「自然(NA:nature)」の意味を加え、「りそな環境助成」と名付けてアジア・オセアニア地域における事業活動を募集します。「地域の人々が自然(Nature)と繋がり(Relation)共生する(Socialize)」そして「地域(Regional)の人々と共鳴(Resona)する」活動を、財団と共にアジア・オセアニア地域へ広げていきましょう。

1. 助成趣旨

「自然と人とのつながりを求めて」

当財団は、アジア・オセアニア諸国における環境事業(プロジェクト)をおこなう方へ助成を行っています。環境事業は多岐にわたりますが、そのなかでも地道な小さな事業を応援してきました。環境問題は地球規模の大きな課題ですが、その解決はごく普通の人のちょっとした創意と工夫による活動の積み重ねで達成できると考えているからです。10年の助成活動を経て、「つながり」を重視した活動に注目するようになってきました。そもそも人と自然のつながりが切れたりゆがんできたりしたのが環境問題の発端です。自然とのつながりを見直すことは、地域の人の生活をまもり、生活の質の向上につながります。さらに大切だと考えているのは、人とひと、そして地域と地域のつながりです。地域に根差した小さな活動は、どうしても影響が狭い地域に限定されてしまいがちです。しかし、ある地域での経験を別の地域につないでゆくことで、環境への思いが共鳴しあい、より広く大きな効果を生むことができます。地域と地域をつなげる事業、地域の小さな活動が大きく育つような事業に助成できたらと思っています。

環境事業選考委員長 阿部 健一

2. 2022年度 助成プログラム

＜対象事業＞

アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題解決へ取り組む草の根的な実践活動。実践活動とは、自然再生活動、自然環境保全活動、自然との共生活動、それらに付随する教育活動などを指し、自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるもの。
※事業内容が調査研究主体のものや、支出計画が海外出張費のみの事業は、助成対象としません。

＜応募資格＞

- 日本において環境保全活動や国際協力活動を行う団体・会社・大学等に所属する者、もしくは海外で環境保全活動や国際協力活動を行う日本人。
 - 活動地域において事業遂行が可能な相応の活動経験と実績がある者、もしくは年齢が35歳以下で相応の活動経験等がある者の指導を受けることができる者。
 - 活動地域である現地において、当該事業活動の共同事業者(協力者)がいる者。
- ※いずれの要件も満たしている必要があります。応募回数の制限はありません。

＜助成期間＞

1年～3年(事業開始2022年4月、年度単位)
※複数年で採択された場合は、毎年申請書の提出を求めて選考を受けていただきます。

＜助成金額＞

助成期間1年につき100万円迄(万円単位)

＜採択数＞

4～6件

※選考基準に沿って審査され、助成趣旨との相応性が重視されます。

～参考:過去3年の新規応募者採択状況～

	申込件数	採択件数	採択率
2021年度	16件	4件	25.0%
2020年度	16件	4件	25.0%
2019年度	23件	5件	21.7%

3. 概要

1) 選考基準

- 下記事項を総合的に勘案し、採択可否を判断します。
- 事業全般の助成趣旨との相応性
 - 事業内容の新規性、独創性と環境保全への貢献
 - 事業計画の周到性、及び遂行可能性
 - 事業計画における資金使途の妥当性
 - 事業達成目標(成果)の具現性

2) 助成金の使途制限

実践活動への支援となっていますので、学術研究活動や、今後の実践活動へ 向けた研究・調査活動は助成の対象となりません。助成金は、事業の実施に直接必要となる経費とします。※旅費は交通費、宿泊費とし日当は対象となりません。管理業務用パソコン等の機器類購入費用は、原則認めません。

3) 助成者の義務

助成者は財団と『覚書』を締結し、活動計画書及び支出計画書に沿って活動いただきます。活動終了後は、活動報告書、会計報告書を提出いただきます。また、事業開始後、計画どおり進まない状況に陥った場合や、計画を変更する場合は、財団へ連絡して対応協議する必要があります。

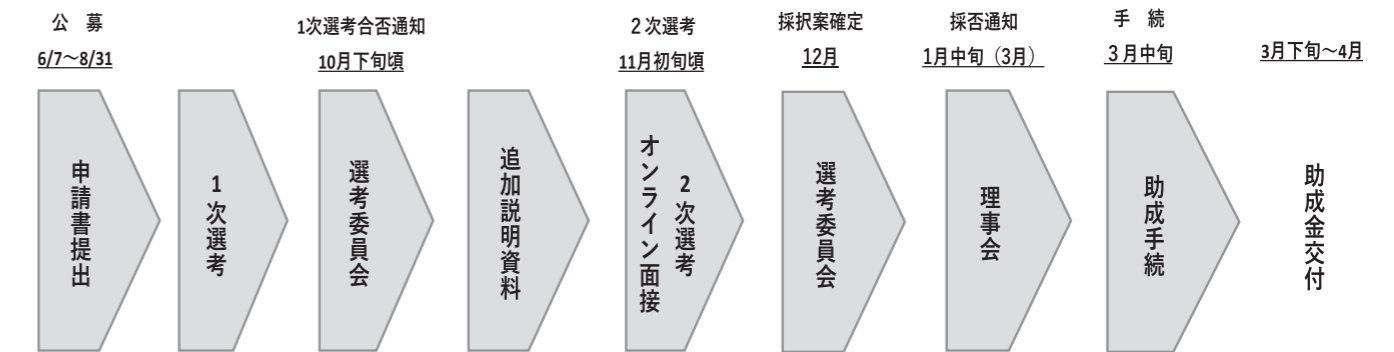
4) 選考方法

申請書による書面審査で1次選考をおこない、合格者は面接による2次選考を実施します。選考は選考委員会で実施し、採択は理事会で決定します。2次選考面接はオンラインで実施し、原則申請者本人の出席とします。

5) 申請受理ならびに採否通知について

申請書類等の受理、1次選考可否通知、助成決定・不採択通知は、電子メールで行います。不採択の際は、審査意見をフィードバックします。

6) 公募から助成金交付までのスケジュール



7) その他

- ・助成活動成果の著作権、特許権等は助成者に帰属し、成果を公表する場合には財団の助成があった旨を公表するものとします。財団は、助成活動の成果を財団の情宣物やHP、SNS等で公開します。
- ・助成期間終了後も、サステナブルな活動へ発展していけるように側面支援していきます。

4. 応募方法

申請書類(「申請書」と「事業説明書」の2種類)を作成し、完成書類をデータファイルで電子メールにて送付して下さい。受信後、受付確認メールを返送します。(受付締切後、1次選考へ入ります。)

「申請書」: 所定のExcelシート(財団HPよりダウンロード)

「事業説明書」: A4サイズで書式や枚数は任意。

※申請書類作成の詳細は財団HPIにて確認願います。
<https://www.resona-ao.or.jp/project/environment.html>

<送付先アドレス> kankyo@resona-ao.or.jp (申請受付専用)

<応募期間> **2021年6月7日～2021年8月31日**

☆ 申込書にご記入いただいた個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用するもので、個人情報保護法および関連する法令・規範にもとづき、厳重に管理します。上記以外には、ご本人の同意がある場合または正当な理由がある場合を除き、第三者に開示または提供しません。

【問い合わせ先】

公益財団法人 リソナアジア・オセアニア財団 (担当: 武部、杉浦)
電話 (06)6203-9481 E-Mail : info@resona-ao.or.jp